

2026 3/10

No.2254

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



曾我梅林（小田原市）の梅が2月下旬に見頃を迎え、大勢の観梅客が富士山との共演を楽しんだ。恒例の「小田原梅まつり」も盛況のうちに終了した。



contents

視点点描	3
平和と独立願った宰相	
特集	4
日米関係は変質するか？ 変質すべきか？	
経済双眼鏡	8
1日3時間労働は絵に描いた餅か 春闘に思う	
サヘル・ローズ×リアルワールド	9
沈黙のライカが問うもの	
中カツ！通信	10
春節中も繰り広げられる AI各社の熾烈なレース	
馬場典子のNEWS箸休め	11
どうする？「職場の飲み会」	
くらし2026	12
6割が赤字 綱渡り続く病院 賃上げと物価高騰のダブルパンチ	
かながわTODAY	14
2月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2026年4月定例講演会

4月21日午後1時30分～2時45分
ロイヤルホールヨコハマ
(横浜市中区)

講師：JFEホールディングス専務
執行役員 岩山 眞士氏
演題：「次の100年を見据えた
大規模土地利用転換への
挑戦」

◇2026年5月定例講演会

5月22日午後1時30分～3時
メルヴェーユ (桜木町駅近く)
講師：神田外語大学教授
興梠 一郎氏

◇2026年6月定例講演会

6月25日午後1時50分ごろ～3時
メルヴェーユ (桜木町駅近く)
講師：日本ファクトチェックセン
ター編集長 古田 大輔氏
※午後1時30分から同会場
で当会決算総会を開催予定

◇2026年7月定例講演会

7月9日午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ (横浜
市中区)
講師：BNPパリバ証券経済調査
本部長 河野 龍太郎氏

視点 点描



平和と独立願った宰相

いえよう。

周知の通り吉田は生涯の本拠を大磯に置き、手紙にも「大磯 吉田茂」と記すほど深い愛着を示した。町民との交流も多く、今も「吉田さん」と親しみを込めて語る住民がいる。

本邸は2009年3月の火災で焼失したが、町民の寄付をはじめ多くの支援を受けて17年に再建され、現在は大磯町郷土資料館の別館「旧吉田茂邸」として公開されている。NPO法人大磯ガイド協

会が全国からの来訪者を案内し、往時の息づかいを静かに伝えていく。

昨秋、吉田研究の第一人者で復元事業にも携わった国学院大学の柴田紳一准教授の講演を聞き、人物としての吉田像をより深く知る機会となった。特に興味深かったのは戦中、この大磯邸に複数のスパイが潜入していたという事実で

ある。外交官として戦争回避や和平工作に関与していた吉田は軍部に警戒され、終戦直前に約1カ月間、憲兵隊に拘束されている。戦後になって潜入を告白した人物に対し、吉田は「お互い、お国のためと思ってやったこと」と笑って許し、就職先まで世話しようとしたという。相模湾を望む邸宅で戦地の若者に思いを寄せていたとの逸話からも、平和への希求は強かったといえる。

今日、日本を取り巻く安全保障環境は大きな転換点を迎えている。戦争体験世代が減るなか、軍事費の増大や対米関係の揺らぎが議論される今こそ、平和と独立を願った政治家の足跡をたどる意義は小さくないだろう。

旧吉田邸で開催中の「戦後80年企画」は3月末まで続く。

(神奈川県地域共創本部

湘南統括・牧野 昌智)

先の衆院選で大勝した高市早苗総理が用いたのが、首相の専権とされる「7条解散」である。この

「伝家の宝刀」を抜く手法は「権限の乱用」「党利党略」との批判が常につきまとうが、戦後にその前例をつくったのは、長期政権を築いた吉田茂であった。

安倍元総理の「国葬」が議論された際にも、戦後で唯一、国葬が

実施された政治家として吉田の名が引き合いに出された。

さらに、戦後日本の外交・安全保障・経済政策に一貫性を与えた「吉田ドクトリン」は、自民党政治の基盤として長く受け継がれてきた。没後50年以上を経た現在も、政治的節目ごとに吉田の名が登場するのは、功罪を含め戦後史において際立った存在であった証左と